事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 5年 1月 10日

協議会名:	明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	陸上交通における地域内フィーダー系統
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	基本的な方針:多くの担い手が連携し、多くの方々が安心して暮らし、おでかけできるまち 目標1 公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進 目標2 沿線への移住定住を促す地域公共交通ネットワークの形成 目標3 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる県境の整備

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 5年 1月 10日

協議会名: 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業) の 事業評価結果の反映状況		④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
名等の名称を記載】	有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】		【計画に基づく事業が適切に 実施されたかを記載。計画ど おり実施されなかった場合に は、理由等記載】	評	【計画に位置付けられた定量 的な目標・効果が達成された かを、目標ごとに記載。目 標・効果が達成できなかった 場合には、理由等を分析の上 記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
平和コーポレーション 株式会社	(1)上矢作線 (横道車庫-道の駅-岩村駅前)	前回の事業評価における改善点を踏まえて、次の事業を実施した。 地域の移動支援検討会と、路線再編にした。 地域の移動支援検討会した。 地域の移動支援検討会した方針を決定した。地域内でに合った路線の一位のでに合った路線の一つでに合った路線が、一つででは、一つでは、一つでででは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一	Α	計画どおり事業は適切に実施された。	В	度を令和5年度目標値となる数値とする。 目標値(満足、やや満足の合計) 96.0%の目標値に対して、本年度(R4)は95.1%となった。 〇観光による公共交通利用者数をコロナ前(R1)に戻せるように目標値を6,000人と設定した。コロナ禍により外出抑制の影響や、食堂列車等は人数制限を設けていたため達成度は25%となった。 〇グリーン会員証の発行枚数を令和5年度目標値となる数値とする。 確保維持計画に記載のある上矢作町については、本年度目標値30枚(4~3月)に対して、14枚である。	コロナ禍に伴う移動需要の激減・新たな生活様式への社会情勢を見据え、地域住民、来訪者の利用者ニーズに応じた路線再編を検討する。 グリーン会員証の発行枚数は地域協議会での承認も得てPRはしているが、外出自粛名等により昨年より発行枚数は落ちている。 上矢作線については、地域の移動支援検討会及び事業者と協働でニーズの把握を行い、R5年4月に実態に合った
	(2)上矢作線 (押山-横道車庫-岩村駅前)		Α	計画どおり事業は適切に実施された。	В		
	(3)上矢作線 (大野-上矢作振興事務所前-岩村駅 前)		Α	計画どおり事業は適切に実施された。	В		
	(4)上矢作線 (大野-横道車庫-岩村駅前)		Α	計画どおり事業は適切に実施された。	В		
	(5)上矢作線 (横道車庫-道の駅-バロー岩村店)			計画どおり事業は適切に実施された。	В		
	(6)上矢作線 (大野-押山-バロー岩村店)			計画どおり事業は適切に実施された。	В		路線の再編を行う。今後はPRや乗りが 教室を開催し、公共交通に対する意識 を高め、さらなる利用促進を図る。
	(7)上矢作線 (バロー岩村店-道の駅-押山)		Α	計画どおり事業は適切に実施された。	В		